

コウノトリ



毎週月曜日更新

カタカタ通信

第143号

「田んぼ日記 Part2」

2024年9月23日

6月からこっそり観察していた、田んぼ。その頃は思ってもいなかった“コメ不足”が騒がれている今日ですが、すでに稲刈りも始まっているので、スーパーで見かける機会が増えてくるといいですね。そんな今回は第131号田んぼ日記の続きです。

6月には、天空の里周辺の田植えはほぼ終わり、7月に見に行くと小さかったイネはぐんぐん成長していました。



水が抜かれ、地面が見えました！



白い花が咲いてます



用水路に魚影がいっぱい

7月末は田んぼの水を抜き、イネの根がしっかり張るようにする“中干し”をしていました。よく見ると、イネに穂が出て白い花が咲いています。中干し期間は、普段田んぼにいる魚たちも、水のある用水路へ避難していました。

9月に入るとイネの実がふくらみ、穂が垂れてきています。田植えの時期によってイネの成長段階が違うので、見渡した時、緑と黄色のコントラストがきれいでした。

9月中旬に見に行くと、一部の田んぼでは稲刈りが終わりだいぶさっぱりしていました。



緑色と黄金色がキレイです



稲刈りが終わり、さっぱりしていました

この後はイネを乾燥させ、脱穀・もみすり・精米と精米作業をおこない、ようやく私たちの手元にやってきます。

毎年、稲刈り時期になると、稲刈り機の後ろをついて歩きバッタなどの生きものを狙うサギが印象的です。稲刈り時期はまだまだ続くので、こういった田んぼと人と生きものたちの姿を見られるのが楽しみです。

天空の里 鴻巣市コウノトリ野生復帰センター

飼育担当：佐藤